



厚生労働省
徳島労働局



ポジティブ・アクション
普及促進のためのシ
ンボルマーク「きらら」



次世代認定マーク
「くるみん」

Press Release

徳島労働局発表
平成26年4月25日

【照会先】

徳島労働局雇用均等室

室長 佐藤 真理子
地方短時間労働指導官 森 恵子
(電話) 088(652)2718

報道関係者各位

徳島の「くるみん」認定企業が30社に！！ 東京都を抜いて全国第1位(認定率)！！

～ くるみんマーク認定企業の事例集を作成しました ～

徳島労働局（局長 樋野浩平）では、このほど、「次世代育成支援対策推進法」に基づく「子育てサポート企業（くるみんマーク取得企業）」の認定状況と、「一般事業主行動計画」の届出状況についてとりまとめました。

徳島における認定企業は、今年度新たに1社を認定し、30社に達しました。認定率（認定企業数／一般事業主行動計画策定届提出企業数）でみると、全国第1位となっています（平成26年3月末現在）。

また、「一般事業主行動計画」の届出数は499社で、うち労働者301人以上の企業は47社、101人以上300人未満では182社、100人以下の中小企業からの届出は270社となっています。

当局では、中小企業における子育て支援策の推進のために「一般事業主行動計画」の策定・届出を促すとともに、くるみんマークの認知度を高め、マーク取得企業の政府目標（平成26年度までに全国で2,000企業）の達成に向けて更に取組を進めていくこととしており、そのツールとして、このたび、徳島県内でくるみんマークを取得した企業の事例集を作成しました。今後は、当事例集を活用し、県内企業への次世代育成支援対策の更なる普及、機運醸成に取り組んでまいります。

1 くるみんマーク認定企業の事例集を作成しました

徳島労働局では、徳島県内で平成25年度末までにくるみんマークの認定を受けた企業（29社）の事例集を作成しました。

認定を受けた企業の仕事と家庭の両立支援対策の取組事例や取組による効果等について生の声取材して取りまとめたものです。くるみんマークの活用事例についても掲載しています。

県内企業の更なる次世代育成支援の機運の醸成を図るために活用していきます。



2 くるみんマークの認定とは

- 「一般事業主行動計画」を策定し、その行動計画に定めた目標を達成するなどの一定の要件を満たした場合、「子育てサポート企業」として厚生労働大臣（都道府県労働局長へ委任）の認定を受けることができます。
- 認定を受けるためには、行動計画に定めた目標を達成したこと、男性の育児休業取得者がいることなど以下の9つの認定基準を満たす必要があります。
- 認定を受けると、以下のようなメリットがあります。

★ 9つの認定基準★

- ① 雇用環境の整備について、行動計画策定指針に照らし適切な行動計画を策定したこと。
- ② 行動計画の計画期間が、2年以上5年以下であること。
- ③ 策定した行動計画を実施し、計画に定めた目標を達成したこと。
- ④ 行動計画の公表及び従業員への周知を適切に行っていること。
- ⑤ 計画期間において、男性従業員のうち育児休業等を取得した者が1人以上いること。
- ⑥ 計画期間において、女性従業員の育児休業等取得率が70%以上であること。
- ⑦ 小学校就学前の子どもを育てる従業員について、育児短時間勤務制度等の措置を講じていること。
- ⑧ 所定外労働の削減のための措置、年次有給休暇の取得の促進のための措置、その他働き方の見直しに資する多様な労働条件の整備のための措置を講じていること。
- ⑨ 法及び法に基づく命令その他関係法令に違反する重大な事実がないこと。

★くるみんマーク認定のメリット★

- ★ 次世代認定マーク（愛称：くるみん）を、商品、広告、求人広告などにつけ、子育てサポート企業であることをPRできます。
- ★ その結果、企業イメージの向上、従業員のモラルアップやそれに伴う生産性の向上、優秀な従業員の採用・定着が期待できます。
- ★ 取得・新築・増改築した建物等について割増償却ができます（平成27年3月31日まで延長されました）。

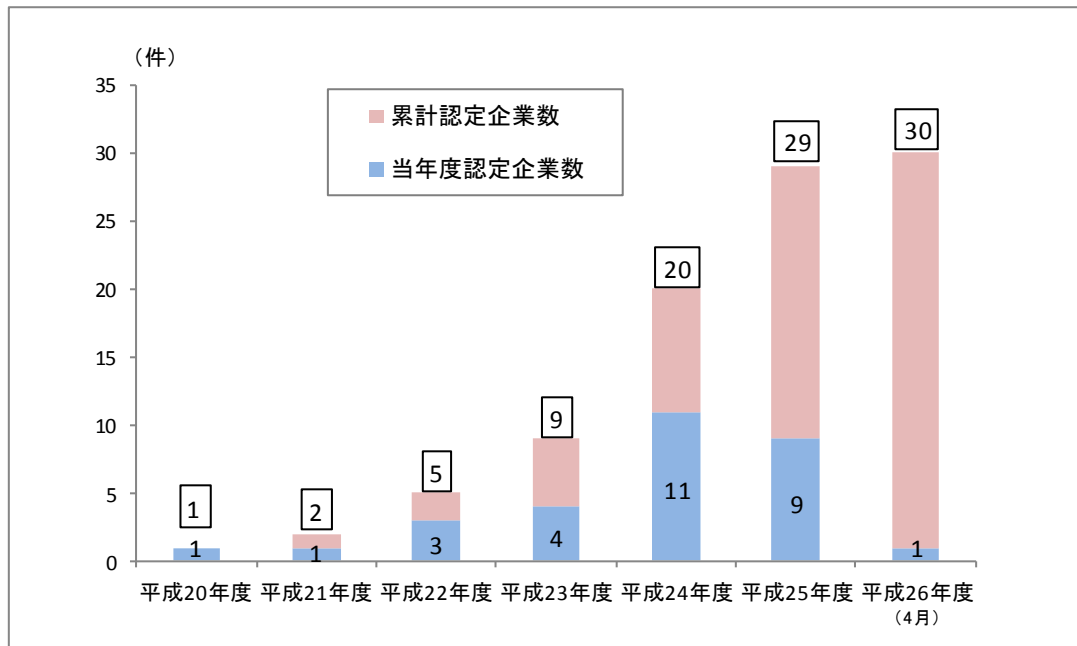


次世代認定マーク（愛称：くるみん）

3 認定状況、一般事業主行動計画の届出状況について

(1) 認定状況の推移

認定企業は 30 社で、年度ごとのくるみマーク取得企業は以下のような推移で増加しています。

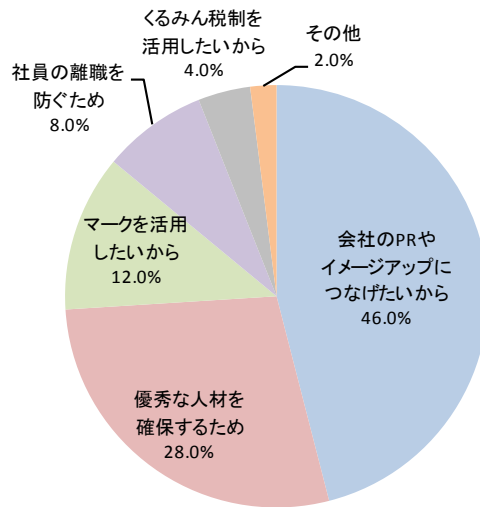


(2) 平成 26 年 3 月 31 日現在の届出状況

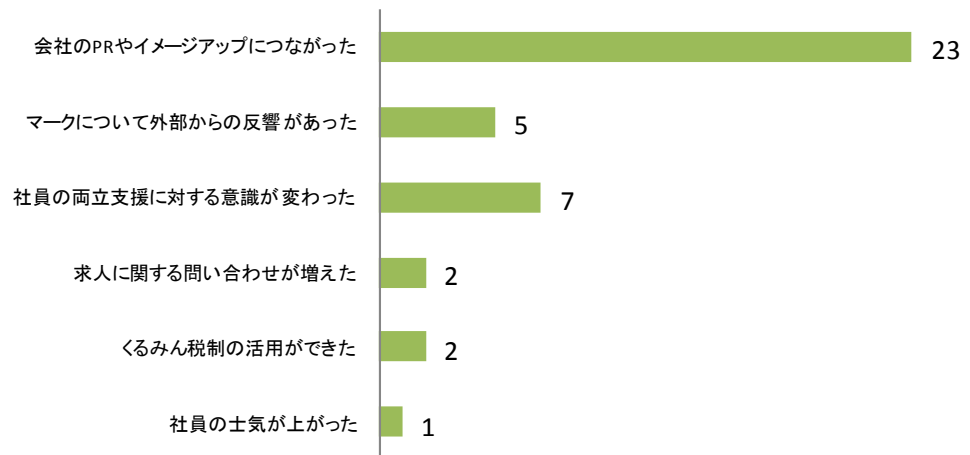
企業規模	届出企業数 (社)	企業総数 (社)	届出率
301人以上企業	47	47	100%
101人以上 300人以下企業	182	182	100%
100人以下企業	270		
計	499		

(3) くるみんマーク取得による効果(認定企業 29 社アンケート)

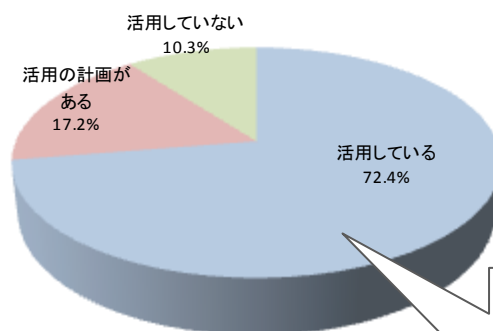
【Q くるみんの認定を目指したきっかけをお聞かせください】



【Q くるみんマークの取得によってどのような効果があったと実感されていますか】



【Q くるみんマークの活用をされていますか】



- ホームページに表示 16 件
- 名刺に表示 13 件
- 会社案内に表示 4 件
- 求人票に表示 2 件
- 採用活動時に利用 7 件
- 封筒に表示 2 件
- 商品に表示 1 件
- 社用車に表示 1 件 など

(4) 徳島県における認定企業

号	企業数	認定年	企業名	企業規模（人）	業種
1	1	2008	株式会社大塚製薬工場	301～	製造業
2	2	2009	西精工株式会社	101～300	製造業
3	3	2010	株式会社阿波銀行	301～	金融業
4	4	2010	医療法人尽心会亀井病院	～100	医療・福祉
5	5	2010	株式会社言語理解研究所	～100	情報通信業
6		2009・11	西精工株式会社	101～300	製造業
7	6	2011	有限会社ラック	～100	卸売・小売業
8	7	2011	有限会社スマイル	～100	卸売・小売業
9	8	2012	医療法人凌雲会	101～300	医療・福祉
10	9	2012	株式会社アプロサイエンス	～100	製造業
11	10	2012	大塚テクノ株式会社	301～	製造業
12	11	2012	株式会社ネオビエント	～100	サービス業
13	12	2012	三笠電機株式会社	～100	建設業
14	13	2012	医療法人きたじま倚山会	301～	医療・福祉
15	14	2012	株式会社松島組	～100	建設業
16	15	2012	医療法人青志会	101～300	医療・福祉
17	16	2012	株式会社オプトピア	～100	情報通信業
18	17	2013	阿南信用金庫	～100	金融業
19	18	2013	徳島健康生活協同組合	301～	医療・福祉
20	19	2013	株式会社テクノモバイル	～100	情報通信業
21	20	2013	公益社団法人徳島県労働者福祉協議会	～100	サービス業
22	21	2013	四国建設コンサルタント株式会社	101～300	サービス業
23	22	2013	徳島トヨペット株式会社	101～300	卸売・小売業
24	23	2013	株式会社松本コンサルタント	101～300	サービス業
25	24	2013	有限会社真商事	～100	医療・福祉
26	25	2013	社会福祉法人飛鳥	～100	医療・福祉
27		2008・13	株式会社大塚製薬工場	301～	製造業
28	26	2013	中央電気建設株式会社	～100	建設業
29	27	2013	株式会社フェイス	～100	サービス業
30	28	2014	山菱電機株式会社	101～300	製造業
31	29	2014	医療法人芳越会	101～300	医療・福祉
32	30	2014	株式会社ボン・アーム	～100	卸売・小売業

4 今年度新たに認定した企業（30社目）の取組事例を紹介します

株式会社ボン・アームの行動計画の内容と取組

1 行動計画の期間

平成24年4月1日～平成26年3月31日までの2年間

2 行動計画の目標

- ① 妊娠中や産休・育休復帰後の女性社員のための相談窓口を設置する。
- ② 小学校入学前までの子を持つ労働者の短時間勤務制度を導入する。
- ③ 産前産後休業や育児休業、育児休業給付、育児休業中の社会保険料免除など制度の周知や情報提供を行う。
- ④ 計画期間内に、女性社員の育児休業取得率を80%以上にする。
- ⑤ 平成26年度までに、所定外労働を削減するため、ノー残業デーを設定し実施する。

3 取組結果

- ① 平成26年2月、子育てを行う社員の両立支援のための相談窓口を設置。文書により社員に周知した。
- ② 平成26年2月1日に育児介護休業規程を改訂し、育児短時間勤務制度の対象を小学校入学前までの子を持つ社員に拡大した。
- ③ 平成24年4月27日、育児など職業生活と家庭生活の両立を支援するための社内制度を説明するための研修会を実施した。
- ④ 計画期間中の女性社員の育児休業取得率は100%。
- ⑤ 平成26年2月より毎月第3火曜日を「ノー残業デー」と設定し、文書により社員に通知するとともに、店長会でも議題に取り上げた。



(添付資料)

資料1：徳島の子育て支援企業を紹介します！

資料2：次世代育成支援対策推進法に基づく一般事業主行動計画を策定し、くるみんマーク認定を目指しましょう！！

資料3：税制優遇を受けられる機会を逃していませんか？